

新型コロナウイルスワクチン接種

県民が安心して

接種できる環境を整備

人の移動や新型コロナウイルス変異株の拡大が原因とみられる、感染者の増加傾向が続いています。感染症発症抑制の効果も期待されているワクチン接種は、完了した方が多数になれば、重症者や亡くなる方が減り、医療体制への負担が軽減されます。また、県民の日常生活や地域経済の再生にもつながります。山梨県感染症対策センターの藤井充総長に、多くの県民がワクチン接種を受ける必要性和副反応などについて伺いました。

ワクチン接種は 感染を防ぐ重要な手立て

新型コロナウイルスは変異株も出現し、誰がいつ感染してもおかしくない状況となっています。お年寄りや基礎疾患がある方など、これまで重症化リスクが高いと言われていた方以外であっても、重症化するケースが見られます。しかし、まだ特效薬がないため、ワクチンを接種し、免疫力や抵抗力を高めて感染を防ぐ以外に、今のところ手立てがありません。接種が進んでい

る外国からは感染を防ぐ、重症化を防ぐ、感染しても周りの人に感染を広げにくいとの報告があり、ワクチン接種が有効であると考えています。持病やアレルギーがある方、妊婦の方などには、接種を受けても大丈夫なのか不安に思われる方や副反応を心配されている方も多いと思います。まず、かかりつけ医や県の新型コロナウイルス専門相談ダイヤルに連絡してください。十分に理解し、納得した上で、接種を受けていただきたいと思います。軽度の痛みや腫れ、微熱などの副反応は多くの方に出ますが、2〜3日で治まってきます。万が一、入院治療が必要な副反応が出た場合であっても、病

院の確保などの医療体制は整っていますので、ご安心ください。

自分だけでなく 大切な人や社会を 守ることにつながる

県民の皆さんに向けて、県ではホームページをはじめ、さまざまなメディアを通じて情報を提供しています。積極的に情報に触れて理解を深め、ワクチン接種に臨んでいただきたいと思います。接種後もマスクを着用するなど、引き続き感染防止の行動をお願いします。変異株により若年層の感染が増え、

また、家族や知人など、身近な人からの感染が大半を占めているのが現状です。若い世代の方々も、接種の順番が回ってきたら積極的に受けていただきたいです。ワクチン接種は、ご自身だけでなく、大切な人を守ることもでき、広く言えば社会を守ることもつながります。



山梨県感染症対策センター
(山梨県CDC)
総長 藤井 充 さん

一人でも多くの皆さんのワクチン接種に向けて

県民の皆さんのワクチン接種を促進するために「あんしんやまなしワクチン接種県民運動」を展開しています。2回のワクチン接種を完了した方には、協賛事業者から割引やポイント付与などの特典が進呈されます。また、引き続き、協賛や県民運動の広報にご協力いただける事業者や団体を募集しています。

【問い合わせ先】 あんしんやまなしワクチン
接種県民運動事務局

TEL.055-254-8696



ワクチン接種後の副反応への対応

- 接種会場では接種後15分以上座って様子を見てください(過去に重いアレルギー症状を起こしたことがある方は30分以上)。じんましん、かゆみ、息苦しさ、腹痛などの症状があらわれた場合、アナフィラキシー(短時間で急速に起きる重いアレルギー反応)の心配がありますので、係員に異常を申し出てください。
- 接種後に副反応が出ることがありますが、一時的な症状で数日以内にやわらぐことがほとんどです。副反応はきちんと免疫ができていく反応のあらわれで、体が病原体と戦う準備をしている証拠です。

主な症状	発現の割合
接種部位の痛み、だるさ、頭痛	50%以上
筋肉痛、悪寒、関節痛、下痢、発熱、接種部位の腫れ	10~50%
吐き気、嘔吐 <small>おうと</small>	1~10%

実際に接種を受けた人(医師、看護師)の体験から

接種の夜に痛くて肩が上からなくなった。痛くて寝返りが打てない。

接種した翌日に体中の節々が痛くてだるい…。

翌日に38.6℃の熱が出た。

重いものを持たないようにして、つらかったら痛み止めを使いましょう。

無理せず安静にし、仕事は休めたら休みましょう。

仕事を休み、つらかったら解熱剤を使いましょう。

どの人も数日で、症状がやわらぎました
※市販の痛み止めや解熱剤を準備しておけば安心です

2~3日経っても、症状が改善せず不安な方は、新型コロナワクチン専門相談ダイヤルに連絡を!

新型コロナワクチン専門相談ダイヤルをご活用ください

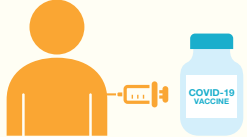
ワクチンの効果・安全性や接種時の注意点などの疑問、接種後の副反応に関する相談に、専門的な知識を有する看護師、薬剤師などが対応します。

- これまでを受けた主な相談
- ワクチン接種の可否に関すること(持病、アレルギーとの兼ね合い)
 - 接種費用や接種の優先順位
 - 副反応に関すること(どのような副反応があるのか)

※ワクチンの接種場所や予約方法などの具体的な手続きに関することは、お住まいの市町村にお問い合わせください。

新型コロナワクチン
専門相談ダイヤル

055-223-8878



受付時間 午前8時30分～午後8時30分(土日祝日を含む)

新型コロナウイルスワクチン副反応休業助成金

ワクチン接種の副反応と思われる症状により休業を余儀なくされ、有給休暇を取得できないなど、給与や事業収入が得られない方に一定額を助成します。

- 【助成対象】 山梨県内でワクチン接種を受け、副反応と思われる症状により休業した労働者、個人事業主
※休業中の給与、事業所得、休業手当のほか傷病手当金等公的な給付金が支給される場合や有給休暇を取得した方は対象となりません。
- 【助成額】 4,000円/日
- 【対象日】 接種当日及び翌日のうち休業した日、または翌日及び翌々日のうち休業した日
※1回目、2回目の接種いずれも対象
- 【申請期限】 令和4年3月31日
- 【問い合わせ先】 新型コロナウイルスワクチン副反応休業助成金事務局 TEL.055-268-6667
- 【受付時間】 午前10時～午後6時(平日)



山梨県感染症対策センターを中心に 先手対応で課題に取り組む

感染症対策の中核を担う山梨県感染症対策センター(山梨県CDC)が4月1日に始動し、超感染症社会の実現に向け、一元的で継続した感染症対策に取り組む体制が整いました。

喫緊の課題である新型コロナウイルス感染症対策に関しては、感染力が強く、若年層も感染しやすいといわれている変異株や人の往来による県内感染者の増加に対し、早急に検査対象を拡大するなどの対応を取っています。

また、グリーン・ゾーン認証制度においても対策を強化し、感染拡大防止の徹底に努めています。

山梨県感染症対策センター始動

県内の感染症対策の司令塔となる「山梨県感染症対策センター」が4月1日に業務を開始。4月9日には、国内外の感染症専門家から情報や助言を得る「グローバル・アドバイザリー・ボード」の初会合を開き、PCR検査の拡充などについて意見が出されました。



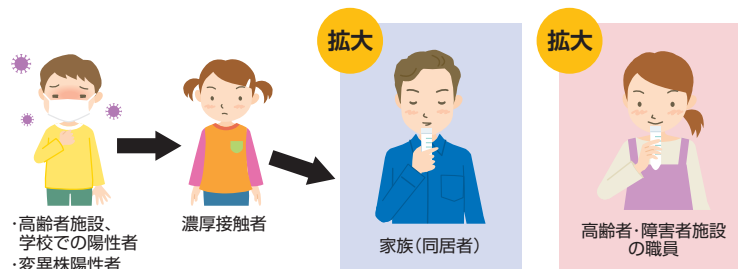
山梨県感染症対策センターの看板を設置する長崎知事(中央)、藤井総長(左)、小島感染症対策統轄官(右)



国内外の専門家とオンラインで開催したグローバル・アドバイザリー・ボードの初会合

感染拡大防止を徹底するため検査対象を拡大

感染拡大防止に向けた先手対応として、変異株陽性となった方や高齢者施設・学校内の陽性者の濃厚接触者の家族(同居者を含む)も検査対象としました。さらに、高齢者・障害者施設の職員へは、ワクチン接種が済むまで定期的に検査を実施します。



療養者が利用できるベッドルーム

療養者は、W i f i (ワイファイ) が完備された部屋を1人で2部屋利用でき、食事のメニューも選択できるなど快適に過ごせます。施設には、看護師や生活支援スタッフが常駐しており、安心して療養できる環境になっています。

宿泊療養施設は、新型コロナウイルスに感染された方のうち、軽症や無症状の方が宿泊して療養を行う施設です。北杜市の「ホテル若神楼」、甲府市の「東横イン甲府駅南口I」に加え、新たに富士河口湖町の「東横イン富士河口湖大橋」を稼働させました。

**富士河口湖町で
新たな宿泊療養施設が稼働**

グリーン・ゾーン認証基準の追加的対策を実行

感染力が非常に強い変異株に対応するため、やまなしグリーン・ゾーン認証基準に定める対策を強化しました。これに対応した機器購入などに対する支援事業も行っています。

追加的対策

全ての認証施設が行う対策

- 利用者の入れ替え時にトイレのドアノブなどの清拭消毒の徹底
- トイレの入り口付近への消毒液の設置



飲食スペースがある施設

- 利用者把握のための「入店管理」
- 滞在時間を90分間程度に変更

右記の対策が完了している場合は120分間に緩和

● 経過措置期間中に実施が必要な対策

- 十字パーティションなどの設置(頭が隠れる高さ、机と同じ幅)
- 二酸化炭素濃度測定器の設置
- HEPAフィルター搭載の空気清浄機の設置
- 席の近くに消毒液・手指消毒用アルコールを設置

機器購入等支援事業

【対象施設】 グリーン・ゾーン認証施設であって、不特定多数の人が共有する飲食を提供するスペースがある施設

【対象事業】 次の機器の購入(令和3年4月30日から7月31日までに購入・設置したものが対象)
パーティション・二酸化炭素濃度測定器・HEPAフィルター搭載の空気清浄機・消毒液
※上記に関連する機器の購入や機器を備え付けるための費用を含みます。

【支援額】 タイプ1 対象経費の全額 上限30万円/施設 ※タイプ1,2のいずれかを選択。
タイプ2 対象経費の3/4 上限60万円/施設 対象経費は消費税を除いた額。

【申請期限】 令和3年9月30日

【申請先】 機器購入等支援事業事務局 TEL. 055-237-6600

【受付時間】 午前10時~午後5時(平日)



山梨 変異株対策 支援



菅首相に提案書を手渡す長崎知事

長崎知事は4月27日、首相官邸で菅義偉首相と面談し、山梨県独自の「やまなしグリーン・ゾーン認証制度」を念頭に、新型コロナウイルス感染症対策が適切に講じられている飲食店などを公的に認証する仕組みを全国へ展開し、持続可能な認証制度の運用を担う全国的な団体の設立と、全国共通の認証基準の設定に向けて、国が取り組むことを求めた提案書を渡しました。また、グリーン・ゾーン認証基準のように、既に県が制度化したものも含め、認証基準を満たす店舗への財政支援も提案しました。

提案は全国22の県知事の連名でなされ、菅首相からは「検討する」との回答を得ました。後日、政府は全国の都道府県知事に対して、本県と同様に、飲食店が講じた対策を第三者が認証する制度の導入を求める通知を出しました。

全国的な感染症対策認証制度の導入を
首相に提案